

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|---------------|-----|-----------------|
| ○事業所名 | デイ雲 | | |
| ○保護者評価実施期間 | 令和 7年 11月 22日 | | ～ 令和 7年 12月 10日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 14名 | (回答者数) 8名 |
| ○従業者評価実施期間 | 令和 7年 12月 10日 | | ～ 令和 7年 12月 28日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 15名 | (回答者数) 12名 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和8年1月10日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|---|---|
| 1 | 生活介護事業も行っている事から、普段から児童だけでなく大人の方々と関わり合いを持つ環境を提供出来ます。 | 事業所内の行事に限らず、法人的行事にも参加をすることで、様々な体験を経験することができます。 | 長期休暇中の活動として、希望があれば事業所内外の活動の体験ができる環境を整えています。 |
| 2 | 敷地内に体育館もあり、雨天時やスポーツ等広い環境での遊びを提供出来ます。また、夏休みには中にはプールを設置し、希望者にはプール遊びを提供しています。 | 施設の周りは自然豊かな場所で、近くには公園もあるため、天気の良い日には散歩へ出かけたり、公園で体を動かしたり出来ます。 | 近年、夏の酷暑が問題になっており、夏休みのプール遊びに関しても、天候次第で実施を検討し安全に勤めています。夏の暑さ、冬の寒さの中でも快適に活動できるよう施設整備だけでなく、活動内容も必要に応じて変更や改善を行って行きます。 |
| 3 | | | |

| | 事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|---|---|---|
| 1 | 施設の立地が傾斜面に位置し、場所によっては勾配がきつい場所もあり、転倒等の危険性もあります。 | 対応できる範囲でのバリアフリー化を進めているが、立地上困難な場所もあるため、移動においては職員付き添いまたは車で移動を実施しています。 | 毎日ヒヤリハット案件の確認を行い、気になる箇所が上がった際には、職員間で意見を出し合いながら、改善可能な箇所については早急に対応するようにしています。 |
| 2 | 児童室は、仕切りの無いワンフロアで児童の見守りはしやすいのですが、利用の人数が多くなった日など体を動かして遊びたいグループとゆっくり動画を鑑賞したいグループ、創作をしたいグループとが混在し、窮屈さを感じさせてしまう場面もあります。 | 活動の内容に応じた、場所の提供が出来ていないことがあります。 | 個人で行う活動と全体で一緒に行う活動とを、うまく計画立てながら、活動に応じた場所(児童室、体育館、公園)で安全に活動出来るよう工夫していきます。 |
| 3 | | | |

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

| | |
|------|-----|
| 事業所名 | デイ雲 |
|------|-----|

公表日 令和8年2月18日

利用児童数

14名

回収数

8

| | | チェック項目 | | | | | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 |
|--------------------------------------|----|---|----|---------------|-----|-------|-------------------------------------|------------|
| | | | はい | どちらとも いえない | いいえ | わからない | | |
| 環境・ 体制 整備 | 1 | こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。 | | 1 | | | 人数に合ったスペースだと思うが、成長している子供たちにはあっているのか | |
| | 2 | 職員の配置数は適切であると思いますか。 | 7 | | | 1 | | |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。 | 8 | | | | | |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。 | 8 | | | | | |
| 適切 な 支 援 の 提 供 | 5 | こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。 | 8 | | | | | |
| | 6 | 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。 | 8 | | | | | |
| | 7 | こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。 | 8 | | | | | |
| | 8 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。 | 8 | | | | | |
| | 9 | 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。 | 8 | | | | | |
| | 10 | 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。 | 8 | | | | | |
| 保 護 者 へ の 説 明 等 | 11 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。 | 6 | | | 2 | | |
| | 12 | 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。 | 8 | | | | | |
| | 13 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。 | 8 | | | | | |
| | 14 | 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。 | 6 | | | 2 | | |
| | 15 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。 | 8 | | | | | |
| | 16 | 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。 | 6 | 2 | | | | |
| | 17 | 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。 | 3 | | | | | |
| | 18 | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。 | 4 | 1 | 2 | 1 | | |
| | 19 | こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。 | 7 | 1 | | 1 | | |
| | 20 | こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。 | 6 | 2 | | | | |
| | 21 | 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。 | 5 | | | 3 | | |

| | | | | | | | | |
|---------|----|--|---|---|--|---|---------------------------------|--|
| | 22 | 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。 | 7 | | | 1 | | |
| 非常時等の対応 | 23 | 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。 | 1 | | | 2 | | |
| | 24 | 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。 | 4 | | | 4 | | |
| | 25 | 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。 | 8 | | | | | |
| | 26 | 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。 | 7 | 1 | | | | |
| 満足度 | 27 | こどもは安心感をもって通所していますか。 | 6 | 2 | | | | |
| | 28 | こどもは通所を楽しみにしていますか。 | 6 | 2 | | | | |
| | 29 | 事業所の支援に満足していますか。 | 8 | | | | 行事が大好きなので、イベントがたくさんあり、楽しみにしている。 | |

公表

事業所における自己評価結果

| 事業所名 | | 公表日 令和8年2月18日 | | | | |
|----------|--------|--|-----|---------|----------------|---|
| デイ雲 | | | | | | |
| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 | |
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | 11 | 1 | | |
| | 2 | 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。 | 10 | 2 | 多動や発作に対応している | 適切だと思う時とそうでない時がある |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | 12 | | | |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | 11 | 1 | | 本棚が乱雑な時あり 帰宅後に消毒が必要では |
| | 5 | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | 11 | 1 | 個別に話をする部屋があり良い | 体調不良の時、隔離する場所がない |
| 業務改善 | 6 | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。 | 11 | 1 | | 個人的には把握できていない |
| | 7 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 10 | 2 | | 責任者しか知らなくていいと思う 一般職員は中途半端にしか関わらないので知る必要ない |
| | 8 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 12 | | 昼礼時に報告、意見交換 | |
| | 9 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | 7 | 5 | | |
| | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | 11 | 1 | | 外部研修を受けてみてはどうか |
| 適切な支援の提供 | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | 11 | 1 | | 他職員にも分かるようにされていれば良いと思う |
| | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。 | 11 | 1 | | |
| | 13 | 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | 12 | | | |
| | 14 | 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 12 | | | 生活介護の職員にも共有されれば良いと思う |
| | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | 10 | 2 | | |
| | 16 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 9 | 3 | | 具体的な内容を生活介護の職員にも分かるようにしてもらえればと思う 怪我なく家に帰す事を第一に |
| | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | 9 | 3 | | 保育士がいるので専門的にプログラミングできるのではないかな |
| | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | 8 | 4 | | 年齢に合わせた活動ができればいいと思う 動画視聴が多い |
| | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。 | 10 | 2 | | |

| | | | | | | |
|--------------|--|--|----|---|--|--|
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | 10 | 2 | | ホワイトボードを活用してはどうか |
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | 8 | 4 | 支援終了後ではなく昼礼時（次の日）に報告をしている 気になる点がある時は支援後に確認をしている | ノートを活用してはどうか |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | 11 | 1 | 発作の記録など細かくできている 記録を残して、生活日誌へ打ち込みをしている | |
| | 23 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 12 | | | |
| | 24 | 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。 | 10 | 2 | | 支援に入る全職員が共有すべきだと思う |
| | 25 | こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。 | 11 | 1 | ペクスカードの使用 無理強いしないようにしている 話をする | 活動を何個も準備して、選択してもらえるようにしてはどうか |
| 関係機関や保護者との連携 | 26 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | 10 | 2 | | |
| | 27 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | 9 | 3 | 障害福祉、教育の関係機関が主となっている | |
| | 28 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。 | 12 | | | |
| | 29 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。 | 10 | 2 | 情報は相談支援事業所としている | |
| | 30 | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。 | 12 | | | |
| | 31 | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。 | 6 | 6 | | 昼礼でも報告をしてほしい |
| | 32 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。 | 3 | 9 | 他事業所との情報交換をしていく必要がある | 感染症に気を付ければ、もっと交流できるのはないか 機会が少ない 学校に任せている |
| | 33 | （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。 | 9 | 3 | | |
| | 34 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | 12 | | | 連絡帳でも伝えるが、支援計画に沿った支援を保護者へ報告するべきではないか |
| | 35 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 6 | 6 | | 個人情報保護の為、責任者以外が家族に干渉する必要はないのではないか |
| 保護者への説明等 | 36 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | 11 | 1 | | |
| | 37 | 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 11 | 1 | | 責任者以外干渉しなくていいのではないか |
| | 38 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。 | 11 | 1 | | |
| | 39 | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | 11 | 1 | | 相談や依頼に対し、本人の様子を記入し保護者の心配を取り除くようにできれば良いと思う |
| | 40 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。 | 7 | 5 | | |
| 41 | こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | 12 | | | | |

| | | | | | | |
|---------|----|--|----|---|--|---------------------------------|
| | 42 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。 | 9 | 3 | | SNSをもっと活用すべき |
| | 43 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 12 | | | 責任者だけが知っている情報を守るしかない |
| | 44 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | 12 | | | |
| | 45 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | 12 | | | |
| 非常時等の対応 | 46 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 12 | | | |
| | 47 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | 12 | | | |
| | 48 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。 | 11 | 1 | | 発作の有無については共有できているが、薬までは理解できていない |
| | 49 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | 12 | | | |
| | 50 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | 12 | | | |
| | 51 | 子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | 11 | 1 | | 責任者だけが家族に干渉して良いと思う |
| | 52 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | 12 | | | |
| | 53 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | 12 | | | |
| | 54 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。 | 12 | | | |